

一般普及講習(支部主催講習)開催日程

救急法

+基礎講習

会場 日本赤十字社和歌山県支部(紀北会場)

2023 9/16± 10/7± 11/18± 12/9±

2024 1/13± 2/10± 3/9±

会場 田辺市民総合センター(紀南会場)

2023 9/23± 10/22± 12/23± 2/23±

定員 各回20名(先着順)

受講資格 15歳以上

日 程 1日間

+救急員養成講習

2023 9/17± 18± 10/8± 9±

11/25± 26± 12/16± 17±

2024 1/20± 21± 2/11± 12±

3/16± 17±

会場 日本赤十字社和歌山県支部

定員 各回20名(先着順)

受講資格 救急法基礎講習受講済者

日 程 2日間

幼児安全法

+支援員養成講習

9/9± 10± 12/2± 3±

会場 日本赤十字社和歌山県支部

定員 各回20名(先着順)

受講資格 15歳以上

日 程 2日間

健康生活支援講習

+支援員養成講習

2023 11/11± 12± 2024 2/3± 4±

会場 日本赤十字社和歌山医療センター

定員 各回20名(先着順)

受講資格 15歳以上

日 程 2日間

- 講習の日程は変更となることがあります。
- 各講習の最少開催人数は5名とさせていただきます。
- 定員に達している場合は、他の日程に変更をお願いする場合があります。

お申し込み方法

1 電話申込

当支部事業推進課までにお電話いただき、お申し込みください。

TEL: **073-422-7141**

2 WEB申込

当支部HP、QRコードからアクセスし、入力フォームからお申し込みください。



各講習の申し込み期日…
開催日前週の金曜日まで



指導員派遣について

あなたの街や会社で講習を開催してみませんか？

1 地域や職場等で一般普及講習を開催する場合は、ご希望の日時・場所へ指導員を派遣します。

2 短期講習、防災減災セミナーは、ご希望の内容に合わせてメニューを組み合わせ、1～2時間程度で開催が可能です。

3 短期講習、防災減災セミナーはオンラインで開催可能なカリキュラムもあります。

詳しくは支部HPで ▶▶▶ 日本赤十字社和歌山県支部

令和4年度

日本赤十字社
和歌山県支部

収支決算概要

歳入 **227,517千円**

個人からの
会費・寄付金収入
122,282千円

法人からの
会費・寄付金収入
27,302千円

その他の収入
77,933千円

歳出 **200,427千円**

歳入歳出差引額(現年度繰越金)
27,090千円

災害救護活動・救護体制の強化に

26,864千円

●救護班要員等の育成、災害救護訓練や研修の実施
●災害物資の備蓄、救護資機材の整備

生命と健康を守る講習及び赤十字ボランティアの活動に

20,226千円

●救急法等の各種講習会の実施
●ボランティアを推進できるボランティアの養成

市町村での赤十字活動に

10,955千円

●各市町村での救護班委員の整備
●各地域でのボランティア活動

赤十字会員の募集や広報活動に

23,561千円

●パンフレット、広報誌の作成
●ダイレクトメールの送付

運営管理等の経費に

118,821千円

赤十字奉仕団の活動紹介

海南市海南赤十字奉仕団

熊野古道藤白坂峠の清掃活動

毎週水曜日、ハイキングクラブの方々と一緒に、海南市の「熊野一ノ島」のある藤白神社から始まる藤白坂沿いのお地蔵さんをお掃除し、お花のお供えをしています。熊野古道を歩く人々が県内、県外からも多く訪れるようになり、人々が気持ちよく歩いてほしい気持ちをもって活動しています。



和歌山県障害者支援赤十字奉仕団

視覚障害児童・生徒への支援活動

毎週金曜日に集まり、視覚障害により市販の本を読むことが困難な児童等のために、文字や絵を大きくして見やすく工夫した布絵本や季節の風景を描いたタペストリーなどの作品を手作りで製作し、支援学校や障害児施設等に寄贈しています。また、視覚障害児童の防災教育用「触って学べる防災教材」を製作し、その取り組みが評価され、「令和4年度防災功労者防災担当大臣表彰」を受賞しました。



日本赤十字社 和歌山県支部
Japanese Red Cross Society

〒640-8137 和歌山市吹上二丁目1番22号
TEL:073-422-7141 FAX:073-422-7148
https://www.jrc.or.jp/chapter/wakayama/

日赤和歌山

日本赤十字社 和歌山県支部
Japanese Red Cross Society
2023年8月

●活動報告 ●一般普及講習開催日程 ●令和4年度収支決算概要 ●赤十字奉仕団の活動紹介

赤十字は、
動いてる！

+ SAVE365

Japanese Red Cross Society

日本赤十字社は、皆さまのご支援で、
365日活動が続いています。



活動報告

赤十字奉仕団員研修会を開催

コロナ禍により開催できなかった「赤十字奉仕団員研修会」を3年ぶりに開催しました。
この研修会は、地域・特殊奉仕団員を対象とした研修会であり、赤十字奉仕団の中心となって奉仕活動を推進していくための知識や技術を取得することや、これからの奉仕活動を担っていただく団員を育成することを目的としています。

紀北	開催日	令和4年9月20日(火)
	開催場所	日本赤十字社和歌山県支部 和歌山市吹上2丁目1番22号
	参加人数	29名

紀南	開催日	令和4年10月7日(金)
	開催場所	和歌山県立情報交流センターBig-U 田辺市新庄町2253-9
	参加人数	21名



第68回 和歌山県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターの開催

令和4年11月13日(日)、和歌山県立白崎青少年の家において、和歌山県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター(トレセン)を開催しました。
トレセンは、青少年赤十字メンバーが集合し、学年や校種を超えた交流を通じて、赤十字について、またリーダーとして必要な自主・自律の精神について学ぶ場です。
当日は雨天のため、本来予定していた屋外でのフィールドワークを屋内用に切り替えての実施となりましたが、参加メンバーからは「参加者と力を合わせる活動を通じて、積極性を改めて学べた。」、「最初は少し緊張していたが、参加者と一緒に楽しく活動できて良かった。次回もこういった活動があれば参加したい。」といった感想をいただきました。

開催場所	和歌山県立白崎青少年の家(和歌山県日高郡由良町大引961-1)
参加者	小学校 2校 5名 高等学校 4校 11名



第40回 NHK海外たすけあいキャンペーンの実施

日本赤十字社では、毎年12月1日～25日の期間、日本放送協会(NHK)及びNHK厚生文化事業団との共催で紛争や災害、飢餓などで苦しむ世界の人々を支援する「NHK 海外たすけあい」キャンペーンを開催しています。
和歌山県でも、令和4年12月1日(木)に、県下で活動いただいている地域赤十字奉仕団21団・約200名の協力を得て、各地域において一斉に啓発活動及び街頭募金活動を行いました。
JR和歌山駅前では、和歌山県支部として、和歌山市大新赤十字奉仕団、和歌山市宮北赤十字奉仕団、東京医療保健大学和歌山看護学部学生赤十字奉仕団の協力を得て、啓発活動を実施しました。
また、期間中は、県下各地域で地域赤十字奉仕団が街頭募金活動を行いました。



令和4年度 第2回評議員会を開催

令和5年2月16日(木)、和歌山県日赤会館3階会議室において、令和4年度第2回日本赤十字社和歌山県支部評議員会を開催しました。
評議員会とは県内における赤十字会員の皆様から選出された評議員の方々に、本県支部、医療センター及び血液センターの事業計画・報告や予算・決算などの重要な事項をご審議いただく場です。
今回の評議員会では、令和5年度事業計画及び歳入歳出予算等にかかる審議がなされ、承認されました。



「赤十字運動月間」の啓発活動を実施

日本赤十字社では、毎年5月を「赤十字運動月間」として、活動を支えて下さる赤十字会員の増強運動を全国で展開しています。
和歌山県支部でも、令和5年5月8日(月)にJR和歌山駅前では和歌山市大新・宮北赤十字奉仕団の協力を得て、街頭募金への呼びかけやポケットティッシュを配付して、啓発活動を行いました。
期間中は、地域赤十字奉仕団の協力を得て、和歌山県下各地域においても啓発活動及び街頭募金活動を行いました。



令和5年 全国赤十字大会が開催

令和5年5月18日(木)、日本赤十字社名誉総裁の皇后陛下、名誉副総裁のご臨席を仰ぎ、令和5年全国赤十字大会が明治神宮会館において開催され、全国から赤十字会員・ボランティア等、約1,600人が参加しました。
大会では、赤十字活動に著しい功績のあった本県の医療法人天竹会(竹中昭美副理事長)様をはじめ、個人・団体の代表者13人に対し、皇后陛下から有功章が授与されました。
和歌山県支部からは、支部役員、有功会役員、活動資金協力者、赤十字奉仕団委員長と支部・施設職員を含めた24人が参加しました。



令和5年度 第1回評議員会を開催

令和5年6月7日(水)、和歌山県日赤会館3階会議室において、令和5年度第1回日本赤十字社和歌山県支部評議員会を開催しました。
今回の評議員会では、令和4年度の事業報告、歳入歳出決算についてご審議いただき、承認されました。



和歌山県日赤有功会総会の開催

令和5年6月14日(水)、和歌山市内のダイワロイネットホテル和歌山にて、第50回和歌山県日赤有功会総会を開催しました。
総会では、令和4年度の事業報告と収支決算、令和5年度の事業計画(案)と収支予算(案)を審議していただき、全議案が原案どおり承認されました。



日本赤十字社 第4(近畿)ブロック 合同災害救護訓練に参加

令和5年6月17日(土)、日本赤十字社第4ブロック合同災害救護訓練が兵庫県支部の担当により、三木市・神戸市他で実施されました。この訓練は、大規模な災害時に必要な医療・保健・衛生等の知識等を得し、救護員としてスキルアップを図るとともに、各支部所属の常備救護班⁽⁴⁾が効率よく医療救護活動を行えるようにすることを目的として実施され、第4(近畿)ブロック各支部常備救護班、赤十字奉仕団、各支部職員等、総勢513人が参加し、和歌山県支部からは24人が参加しました。

(※)常備救護班とは……

日本赤十字社和歌山県支部では、7班(1班あたり医師1人、看護師4人、薬剤師1人、主事1人)の常備救護班を編成し、災害時の初期医療から中長期にわたって活動を行える体制を整えています。
また、和歌山県と災害派遣医療チーム(DMAT)の派遣協定を締結しており、県からの派遣要請に備えています。現在、和歌山県支部では、計22人の隊員が登録しています。(令和5年3月31日時点)

